

No.	年	著作 題名	編者・著者	書籍名・雑誌名	発行者
1	2000	教育は自閉症児を変える.	大屋滋編	教育は自閉症児を変える.	千葉県自閉症協会 (日本自閉症協会千葉県支部)
2	2002	コミュニケーションの難しい障害児の入院医療の工夫—家族と医療者の立場から.		有馬正高、太田昌孝編:発達障害医学の進歩14	診断と治療社
3	2003	自閉症を語る—自閉症児を持つ親として—.		フォアミセス.2003(6)	秋田書店
4	2004	知的障害や自閉症のある人の医療に関する仕組み作りとバリアフリー策の開発.		手をつなぐ.2004.1	手をつなぐ育成会
5	2004	自閉症と知的障害のバリアフリー—.		手をつなぐ.2004.8	手をつなぐ育成会
6	2004	身体疾患があつて医療機関へかかるとき.		自閉症ガイドブック3 思春期編.	日本自閉症協会
7	2004	知的障害や自閉症がある人の医療機関受診について.		知的障害や自閉症のある人と地域医療.	市川市手をつなぐ育成会
8	2005	LD、AD/HD、自閉症のバリアフリー—.		ベビーサイエンス.04	日本赤ちゃん学会
9	2005	英国ノーザンプトン県の自閉症福祉・教育見学記—.		英国の行政から見た自閉症支援	千葉県自閉症協会 (日本自閉症協会千葉県支部)
10	2005	自閉症のバリアフリーと合理的な配慮.		高岡健、岡村達也編:自閉症スペクトラム	批評社
11	2006	発達障害児者の医療機関受診とバリアフリーの重要性—障害者人間ドックの試み—.		発達障害研究.28(1)	日本発達障害学会
12	2006	教育的ニーズに応じられる専門性とは—保護者の立場から—.		いのちはぐくむ支援教育の展望.141	日本重複障害教育研究会
13	2006	発達障害—医師・医学・医療に望むもの.	加我牧子、稲垣真澄編	医師のための発達障害児・者診断治療ガイド—最新の知見と支援の実際	診断と治療社
14	2006	「軽度」三角頭蓋手術の意味.		発達障害白書200	日本文化科学社
15	2007	法人設立記念シンポジウム.これからの障害者歯科に期待すること、行く先を考える		障害者歯科,vol28(4)	日本障害者歯科学会
16	2007	強度行動障害特別支援事業の第三者評価システムの検討について.	主任研究者:飯田雅子	障害保健福祉総合研究事業;強度行動障害を中核とする支援困難な人々への支援に関する研究()平成18年度研究報告書	平成16-18年度厚生労働科学研究費補助
17	2007	医療機関における自閉症や知的障害のある人の支援		平成16-18年度千葉県障害者の総合健康診断及び人間ドックを進めるモデル事業 報告書	千葉県
18	2007	知的障害をもつ自閉症—親の立場から.		そだちの科学第8号	日本評論社
19	2007	「行動援護」にのぞむこと.		行動援護従業者養成研修テキスト基礎編・援助技術編	特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク
20	2007	こどもの事件と情報開示—自閉症児を持つ親の立場から		児童青年精神医学とその近接領域.48(5)	日本児童青年精神医学会
21	2007	第47回総会教育に関する委員会セミナー 特別支援教育の展開と課題—医療と教育の連携を中心に:保護者の期待と要望.		児童青年精神医学とその近接領域.48(5)	日本児童青年精神医学会
22	2007	第47回総会倫理検討委員会シンポジウム 臨床研究の倫理—発達障害と三角頭蓋を巡って:発達障害と「軽度」三角頭蓋手術—親と脳神経外科の立場から.		児童青年精神医学とその近接領域.48(5)	日本児童青年精神医学会
23	2007	自閉症や知的障害の人に対する医療支援		小児歯科臨床.12(12)	東京臨床出版
24	2007	発達障害者支援法.	秋山千枝子、堀口寿広監修	スクールカウンセリングマニュアル	日本小児医事出版社

25	2007	知的障害や自閉症がある人の医療機関受診について.	市川市医師会	障がいのある人へのやさしい医療を目指して 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」平成19年度施策提案型事業	市川市医師会
26	2008	医療機関で働く皆様へ「発達障害のある人の診療ハンドブック」医療のバリアフリー.	大屋滋他編著	平成19年度厚生労働科学研究(主任研究者堀江まゆみ,分担研究者大屋滋)	NPO法人PandA-J
27	2008	知的障害や自閉症のある人の医療機関受診について.		障がいのある人への優しい医療を目指して	市川市医師会
28	2008	障害者人間ドックの工夫.	梅永雄二編	構造化による自閉症の人への支援	エンパワメント研究所
29	2008	医療現場での取り組み.	小林信篤編	日本のTEACCHプログラムによる自閉症療育の今,p80-86.	学習研究社
30	2009	あとがき.	戸部けいこ著	光とともに第14巻	秋田書店
31	2009	発達障害者の医療機関受診の問題点に関する検討.	主任研究者:加藤正仁	障害者の地域生活移行を推進するためのいくつかの課題についての調査研究事業) 研究報告書	平成20年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業
32	2009	自閉症や知的障害のある人の医療受診の問題点.	主任研究者:堀江まゆみ	発達障害者の地域生活における法的支援・医療受診支援・地域トラブル支援に向けた発達障害理解啓発・研修プログラムの開発 医療受診支援セミナー報告書	平成20年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業
33	2009	自閉症の人たちの生活と権利擁護.	大田俊己他編	自閉症支援のすべて	日本文化科学社
34	2009	判断支援を必要とする障害者等に対する成年後見と生活支援を組み合わせた権利擁護支援体制の構築に関する実践的研究 報告書		報告書(主任研究者:大屋滋)	平成18-20年度千葉県血清研究所記念保健医療福祉基金調査研究事業
35	2009	自閉症や知的障害のある人の医療バリアフリー	大屋滋編著	報告書(主任研究者:堀江まゆみ)	平成20年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業
36	2009	医療受診のバリアフリーに必要なコミュニケーションの工夫.		都市問題.100(5)	東京市政調査会
37	2009	精神遅滞を伴う自閉症児の入院時の工夫.	市川宏伸、内山登紀夫編	発達障害ケースブック	診断と治療社
38	2010	子どもの今と将来を護る教育		特別支援教育の実践情報.136	明治図書
39	2011	親として期待する早期発見と早期支援のあり方	教育と医学の会編.	教育と医学 No591	慶応義塾大学出版会
40	2012	座談会「医師として、父として」小澤武司、大屋滋、岡田稔久、上野正	清水康夫、本田秀夫編	幼少期の臨床的理解と支援2 幼児期の理解と支援	金子書房
41	2012	自閉症スペクトラム辞典	大屋滋分担執筆		教育出版
42	2012	急性期医療における発達障がいへの対応		小児看護vol.35 No.5	へるす出版
43	2012	社会的な関係を築くために学校教育に期待すること		全日本特別支援教育研究連盟編集 特別支援教育研究2012年6月号	東洋館出版
44	2012	脳外科的治療(シャントなど)		発達障害支援ハンドブック	金子書房
45	2012	コミュニケーションや適応行動の難しい子どもや若年者との歯科での対応 発達障害児と医療機関での対応		日本歯科医師会雑誌 65(5)	日本歯科医師会
46	2013	健康診断・人間ドックを受けよう		手をつなぐ.2013.8	全日本手をつなぐ育成会
47	2014	研究検討委員からの今後の提言 強度行動障害に関する研究、研修についての課題について		のぞみの園 強度行動障害支援初任者養成研修プログラム及びテキストの開発について 報告書	平成25年度障害者総合福祉推進事業
48	2014	医療機関における合理的配慮のあり方 発達障害	堀口寿広編	医療機関における合理的配慮	平成25年度厚生労働科学研究費補助金

49	2015	クリニックで対応する発達障害 外来で困りませんか 児への対応 発達障害児の診療 医療のバリアフリー		外来小児科 17(4)	日本外来小児科学会
50	2016	医療機関における合理的配慮 ガイドライン 発達障害	堀口寿広編	医療機関における合理的配慮 ガイドライン	平成27年度厚生労働科学研究費補助金
51	2016	わたしと特別支援教育 学校に期待する4つのこと		特別支援教育の実践情報 2016年6/7月号	明治図書
52	2016	当事者家族として臨床心理専門職にわかってほしいこと	下山晴彦、村瀬嘉代子、森岡正芳編著	必携 発達障害支援ハンドブック	金剛出版
53	2016	発達障害児の父親だからできること・やるべきこと・やってあげばよかったこと	アスペ・エルデの会編	発達障害のある子の父親ストーリー	明治図書
54	2016	小児自閉症の入院管理が必要な場合の配慮と具体的な対応例		こどもケア 11(2)	日総研出版
55	2017	学校教育との連携：②自閉症・知的障害のある子の親が学校に望むこと <改訂版>	宮本信也他監修 土橋圭子他編集	特別支援教育の基礎 【改訂版】 確かな支援のできる教師・保育士になるために	東京書籍
	年	取材記事	著者	雑誌名	出版社
	2005	夫婦で歩む人生 わが子の障害に向き合いやっと“家族”になった。	佐竹茉莉子著、中里和人撮影	清流.2005(5)	清流出版社
	2007	自閉症児・者に適切な医療をーその工夫と志 医療機関でのサポート：受診編	宮原一郎著	実践障害児教育vol.406	学習研究社
	2007	自閉症児・者に適切な医療をーその工夫と志 医療機関でのサポート：障害者人間ドックモデル事業編	宮原一郎著	実践障害児教育vol.407	学習研究社
	2008	イヌが恐かった重度の“自閉症”の友 貴くん クリスにキスができるまで	花岡佳子著	ポストン・テリア・ファン.	誠文堂新光社
	2009	自閉症児を家族に持つ脳神経外科医の提言 上 自閉症・知的障害者の受診困難はコミュニケーションの不足に起因	遠藤隆著	メディカルクオール	メディカルクオール
	2009	自閉症児を家族に持つ脳神経外科医の提言 下 患者との信頼関係が基本となる障害者にやさしい病院の風土	遠藤隆著	メディカルクオール	メディカルクオール